令和 5（2023）年度 第 2 回水工学委員会および幹事会　議事録

日　時：令和 5 年 12 月 12 日（火）18:15～20:30
場　所：大阪大学 中之島センター 第二会場
出席者（出席者は□囲みで表示）
中川 一(顧問), 寶 馨(顧問), 道奥康治(顧問), 中北英一(顧問), 清水康行(顧問), 清水義彦(顧問), 泉 典洋, 佐山敬洋, 小田僚子, 矢野真一郎, 溝口敦子, 高橋正行, 椿 涼太, 風間 聡, 入江政安, 竹林洋史, 大石哲, 手計太一, 森脇 亮, 中山恵介, 田端幸輔, 音田慎一郎, 川村里見, 山田朋人, 岩崎理樹, 梅田 信, 川越清樹, 二瓶泰雄, 鼎 信次郎, 田中規夫, 宮本仁志, 芳村 圭, 平林由希子, 石川博基, 瀬﨑智之, 柿沼太貴, 佐藤隆宏, 陰山健太郎, 荒木千博, 渡邊武志, 中村要介, 岡村誠司, 戸田祐嗣, 谷口健司, 武田誠, 市川 温, 川池健司, 小林健一郎, 田中賢治, 山上路生, 山口弘誠, 赤松良久, 内田龍彦, 高橋直己, 杉原裕司, 重枝未玲

(41/50 名)

大槻順朗(オブザーバ), 五十里 洋行(オブザーバ), 深見　和彦(オブザーバ), 呉 修一(オブザーバ), 那須珠実 (土木学会事務局)
記録者：柿沼太貴　(以上，敬称略)

0. 泉委員長挨拶
・議事に先立ち、泉委員長より挨拶があった。

≪報告事項≫
1. 令和 5 年度水工学委員会構成（幹事長）　資料 1-1、2
・資料に基づき説明された。今年度から新しく水理・水文統計解析研究小委員会が発足した。
2. 令和 5 年度の年間スケジュール（幹事長）　資料 2
・資料に基づき説明された。
3. 2023 年度水工学に関する夏期研修会（北海道大学，岩崎委員）　資料 3
・岩崎委員より資料に基づき開催報告があった。完全対面方式（112 名）、懇親会（40 名）で実施。約 30 万円の赤字。理由は想定より参加者が少なかったことと旅費の高騰。来年は大阪公立大学で開催。
・行きたくても行けない人への配慮として、次年度はオンデマンドも考えたほうがいい。（溝口委員）
・昨年はコロナの影響もありオンデマンドで実施。録画での配信となると制約される内容もあった。
4. 第 68 回水工学講演会について（大阪大学, 入江委員）
・入江委員より開催状況について報告があった。
5. 水シンポジウム 2023in さが（矢野委員）　資料 4
・矢野委員より資料に基づいて開催報告があった。
・水シンポの予算は水工学委員会とは別予算であり、無事に黒字で終了した。
6. 部会・小委員会・関連委員会の活動報告及び活動計画
➢部　会　：　基礎水理部会（高橋正委員）　資料 5-1
河川部会（内田委員）　資料 5-2

環境水理部会（赤松委員）　資料 5-3
水文部会（市川委員）
➢研究小委員会：グローカル気候変動適応研究小委員会（小林委員）　資料 5-4
河道管理研究小委員会（戸田委員）　資料 5-5
水理・水文統計解析研究小委員会（風間委員）　資料 5-6
➢関連委員会：水工学オンライン小委員会（武田委員）　資料 5-7
土木学会論文集編集委員会（戸田委員）
河川懇談会（二瓶委員）　資料 5-8
流域管理と地域計画の連携（市川委員）　資料 5-9
水害対策小委員会（竹林委員）　資料 5-10

・各部会長、小委員長および関連委員から、各部会、各小委員会、関連委員会の活動報告と今年度の予定に関して説明があった。詳細は資料の通りである。

基礎水理部会：2024 年 1 月 9-10 日に基礎水理部会現場見学会がありまだ数名空きがある。

河川部会：河川技術シンポジウムに関して、要旨応募時に希望する参加形式（対面もしくはオンライン）を選択可能。コメント欄の活性化のためにアウトスタンディングディスカッション賞を新たに創設。

水理・水文統計解析研究小委員会：水理を専門とする委員が不足している状況。

水工学オンライン小委員会：第 23 回水工学オンライン連続講演会の経験から今後はウェビナーを利用する。

水害対策小委員会：建築物等の被災調査マニュアルは建築学会との合同で作成している。今年度は国内の水害規模から水害調査団を結成しなかった。

7 その他

10 月 27 日に中川博次京都大学名誉教授（92）ご逝去（清水顧問）

≪協議事項≫

1. 土木学会論文集特集号（水工学）編集作業について（小田編集幹事長）　協議資料 1

・水文・水資源部門からの投稿数が 8%減少。おそらく AGU の開催時期が重複していたため。

・「一度投稿したら，締切期限内であっても差替え不可」のルールがあまり浸透しておらず、差替えの問合せが多くあった。

・アカウントを変えた重複投稿が 3 件発生した。

【審議事項】

・小田編集幹事長から内規の改正案が提案された。軽微と重大な訂正の 2 種類に分けて記載するようにする。軽微な訂正は受け付けず、重大な訂正は水工学委員会を経て最終的には小委員会で判断する。文章を修正後委員に共有。

・解析の誤りによる図表の修正希望論文 1 件が報告され、修正内容が委員会にて了承された。

2. 令和 6 年度第 69 回水工学講演会について（富山，呉委員）　協議資料 2

・呉委員から、来年度の講演会に関する準備状況の説明があった。開催日時は 2024 年 12 月 2 日（月）～4 日（水）、場所は富山県民会館を想定。予算については富山県および市からの補助金が見込まれる。

3. 令和 6 年度水工学に関する夏期研修会　（関西、海岸工学委員会主担当，代理：幹事長）　協議資料 3

・佐山幹事長より、来年度の夏期研修会（8/29,30）に関する準備状況の説明があった。場所は大阪公立大学杉

本キャンパスを予定。海岸工学側が主担当で、水工側は山口委員が担当。

4. 令和６年度第 28 回水シンポジウムについて（長野，幹事長）　協議資料 4

・佐山幹事長より、来年度の水シンポジウム（10/31-11/1）に関する準備状況の説明があった。場所は長野市若里市民文化ホールを予定。

5. The 4th JSCE-CCES Joint Symposium について（幹事長）　協議資料 5

・佐山幹事長より、来年度の The 4th JSCE-CCES Joint Symposium（4/25-28）に関する準備状況の説明があった。水工学委員会と海岸工学会が第 3、4 回を担当しており日本側からの参加者が募られている。詳細は後程幹事長から共有。

6. 令和５年度の水工学委員会の予算について（幹事長）2:14 ごろ　協議資料 6

・佐山幹事長より、今年度予算の決定額が示され、現状での使用状況が報告された（260 万超残）。ここから J-stage 費用に 140 万、水シンポ開催に 50 万が差し引かれ、60 万超残となる。

7. その他

・山田委員から来年 7 月に北海道にて開催される GEWEX の案内があった。

・田中委員から来年度中国にて開催される IAHR HIC の案内があった。